

2007年度前期「学生による授業評価」アンケート実施報告

「学生による授業評価」アンケート調査結果の概要を報告します。
データ分析は、集計・分析を委託した(株)日経リサーチによるものです。

調査概要

【調査実施時期】	2007年 6月25日(月)～ 7月6日(金)
【調査対象】	姫路獨協大学の全学生
【調査方法】	授業出席者に対して配布、授業時に回収
【調査内容】	教員の授業、教員の授業姿勢、授業内容、授業満足度、受講態度の評価
【調査回収サンプル数】	合計 21121サンプル (総配布サンプル数 34961 回収率 60.4%)

学部別-----

外国語学部	5229
ドイツ語学科	352
英語学科	2424
中国語学科	504
日本語学科	1202
韓国語学科	351
スペイン語学科	336
国際文化コミュニケーション専攻	60

法学部

経済情報学部

医療保健学部	4510
理学療法学科	1279
作業療法学科	1097
言語聴覚療法学科	307
こども保健学科	1081
臨床工学科	746

薬学部

学年別-----

1 年	8514
2 年	5860
3 年	3725
4 年	2276

※学科、学年が未記入のものを含む。

性別-----

男 性	13860
女 性	6830

学生区分-----

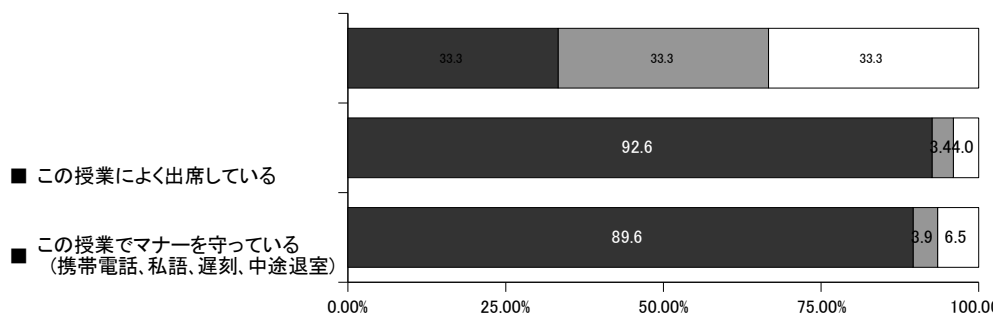
学部生	19465
留学生	1050
その他	34

<受講態度について>

(回答者数=21121)

○『この授業によく出席している』についての自己評価は、「はい」が92.6%と圧倒的に高く、アンケート回答者の授業の出席率の高さがうかがえる。

○『この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』でも、「はい」は89.6%で9割近くがマナーを守っていることがわかる。



※以下の質問項目の回答者数は一般科目のみで絞ってます。体育科目は(1)(2)(3)(12)の質問文の内容を変更して実施。下段()内質問文参照

<教員の授業について>

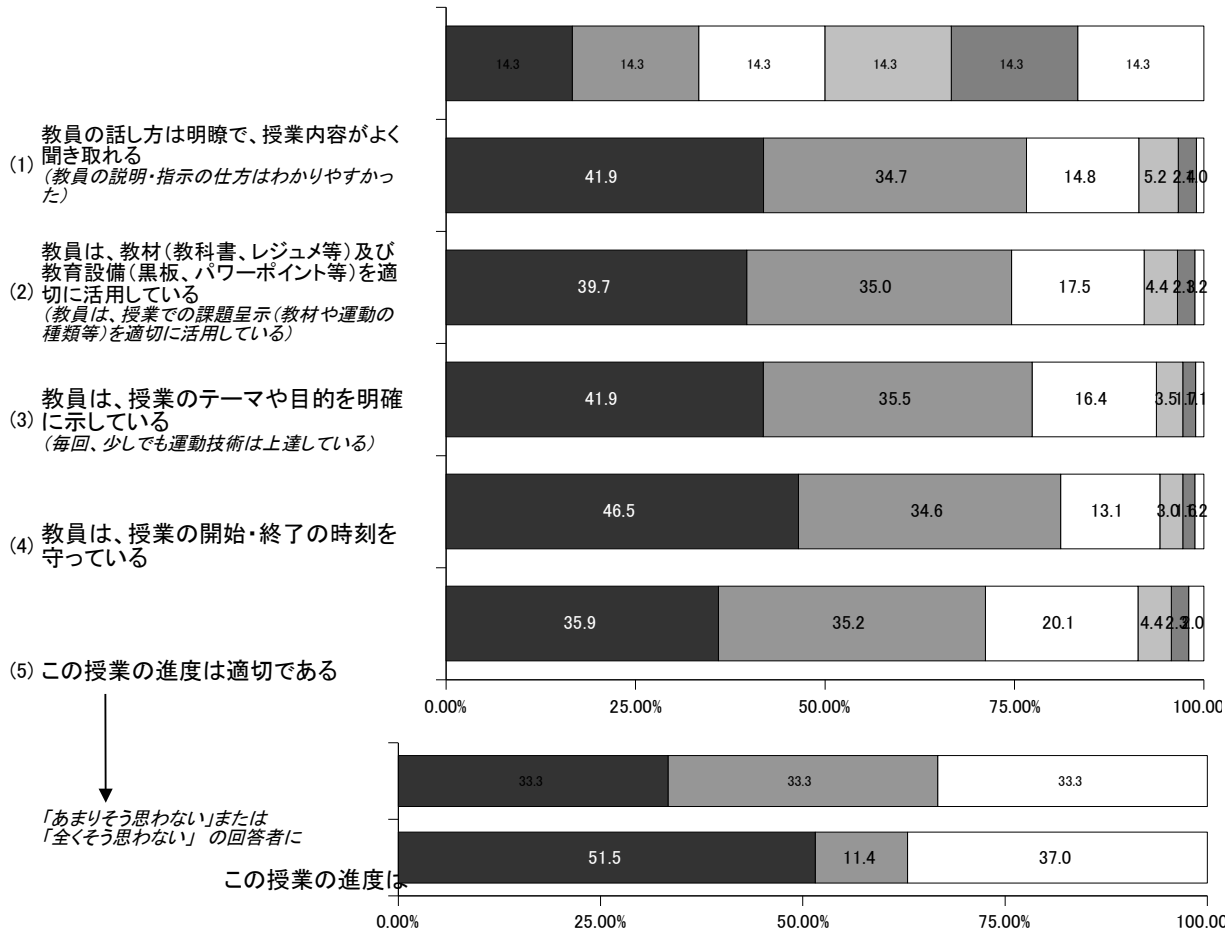
(回答者数=19211)

○『教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている』という質問に対し、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は81.1%。8割以上が『教員の時刻厳守』を高く評価している。

○また、『教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』、『教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』でも、「非常にそう思う」は4割を超え、評価は高い。

○『この授業の進捗は適切である』という質問に対し、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計は6.7%。

その半数の51.5%は授業の進捗を『速すぎる』としている。

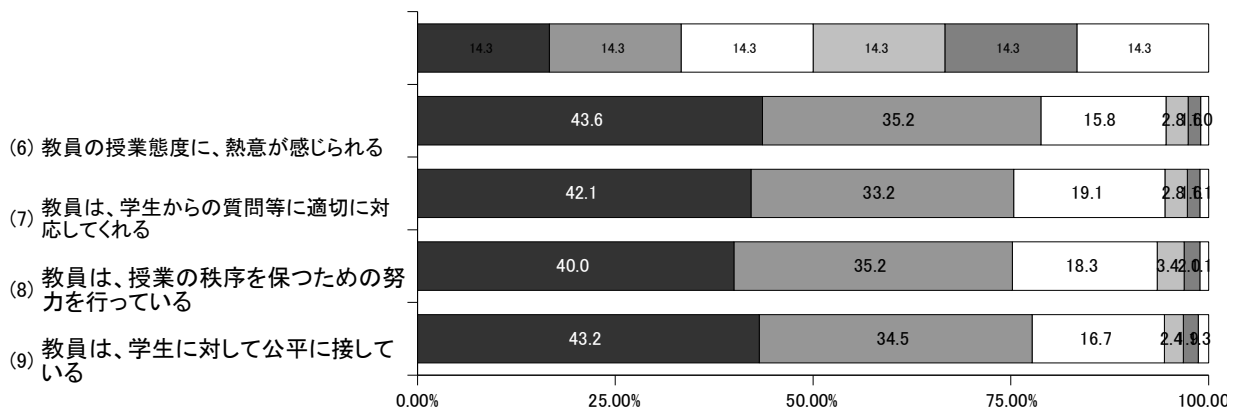


<教員の授業に関する姿勢について>

(回答者数=19211)

○教員の授業に関する姿勢では、『教員の授業態度に、熱意が感じられる』という質問に対し「非常にそう思う」が43.6%と最も高い。次いで『教員は、学生に対して公平に接している』も、「非常にそう思う」が43.2%と高い。

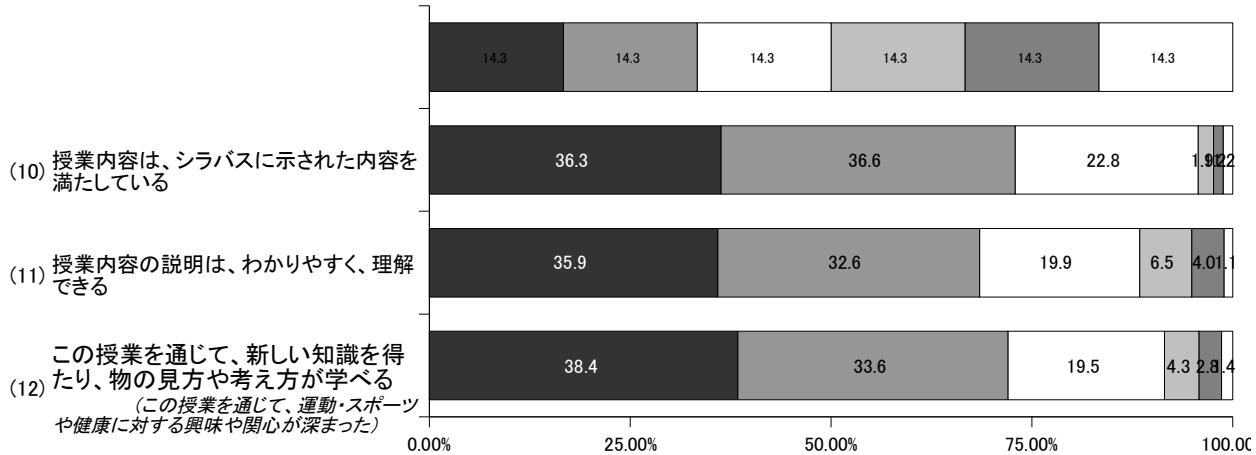
○『教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる』、『教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている』はともに、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が75%台でほぼ等しい。



<授業内容について>

(回答者数=19211)

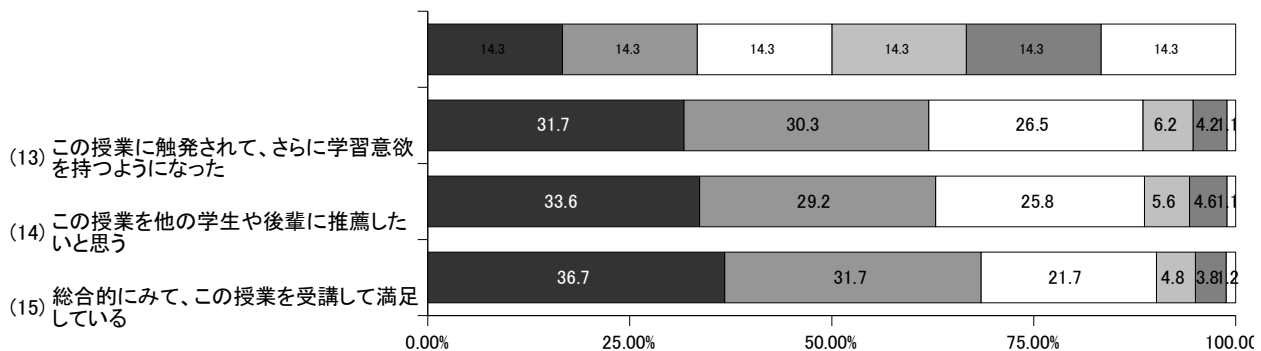
- 授業内容では、『この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる』という質問に対し「非常にそう思う」が38.4%と最も高い。次いで『授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』も、「非常にそう思う」が36.3%と高い。
- 『授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』では「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が68.5%と、他の授業内容項目に比べてやや低い評価となっている。



<授業に対する満足度について>

(回答者数=19211)

- 授業に対する満足度では、『総合的にみて、この授業を受講して満足している』という質問に対し「非常にそう思う」が36.7%と最も高い。
- 『この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』、『この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』はともに、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が62%台でほぼ等しい。



■データ分析

全体データ

●受講態度について

授業への出席や受講態度についての自己評価は特に高く、学生の積極的な学習意欲が伺える。

●教員の授業について

教員の時間厳守に対する評価は8割を超え最も高く、授業のテーマや目的の明確化、教員の話し方の明瞭さの評価も追従している。

●教員の授業に対する姿勢について

教員の授業態度の熱意や、学生への公平な対応についての評価は高い。さらなる満足度向上のためには、学生からの質問等に適切に対応し、授業の秩序を保つための努力を行うことが望ましい。

●授業内容について

授業内容はシラバスに示された内容を満たしており、授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べると評価しているのは約7割。今後は一層わかりやすく、理解しやすい説明が期待される。

●授業に対する満足度について

現在、約7割の総合満足度をさらにUpさせるためには、学生の学習意欲や、後輩への推薦意思の向上が不可欠となる。

属性別満足度データ

◎学部別

全体的には外国語学部が最も高く、次いで医療保健学部、法学部、経済情報学部の順となる。外国語学部を学科別にみると、スペイン語、国際文化コミュニケーション専攻を筆頭に、中国語、ドイツ語、日本語、英語、韓国語の順で評価が高い。また、医療保健学部を学科別にみると、理学療法、こども保健、言語聴覚療法、作業療法、臨床工の順で評価が高い。

◎学生区分・学年別

学部生に比べ、留学生の評価が特に高い。学年間では4年の評価が最も高く、1年の評価が低い。